



● 病院概要

所在地	京都市伏見区石田森南町28-1
開設者	医療法人 医仁会 理事長 武田 隆久
開設年	1976年7月20日
病院長名	三森 経世
病床数	500床
医師数	常勤 120名 非常勤 18名
診療科	総合診療科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、内分泌内科、外科、整形外科、呼吸器外科、脳神経外科、心臓血管外科、形成外科、産婦人科、小児科、眼科、耳鼻いんこう科、皮膚科、泌尿器科、歯科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

武田総合病院の9つの特徴

- ◆ 先駆的医療を手掛ける各種専門科にて研修を行うことができます。
- ◆ 豊富な症例と経験豊富な指導陣により救急診療のエキスパートを育成します。
- ◆ 総合診療科研修や外来診療研修によりプライマリ・ケア医として確かな実力を涵養します。
- ◆ 地域医療に根差した環境で高いレベルの地域医療研修が可能です。
- ◆ 研修医向けのカンファレンスが定期的開催され症例発表を学び医学を研鑽します。
- ◆ 指導医—研修医のコミュニケーションを大事にしています。
- ◆ 出身大学や医局の垣根がなく、各科の専門医と協力しながら診療・研修することが容易です。
- ◆ 優秀なコ・メディカルに囲まれ高度なチーム医療を提供しています。
- ◆ 研修医のための充実した職場環境を提供しています。

● 研修プログラムの方針及び特徴

方針	当院の研修の理念として、病院の経営理念である「『思いやりの心』をもって全人的医療の実践に取り組むこと」を掲げております。当院の初期研修では、研修医が指導医とともに診療の最前線で患者様と接していただいております。その中で病態だけではなく、人生観やライフスタイルなどを含めて心の支えとなり、生きていく方法と希望を患者様と一緒に考えられる医師を目指します。また、研修医生活は医師としての人生の始まりであり、この時期に身につけた技能・態度は今後の医師としてのあり方を決める礎となるものであり、またこの時期の経験は将来の専門性を選択する上で最も大きな影響を及ぼすものであります。初期研修の間に医師として自己研鑽していけるための態度と技能、知識を修得できるように指導するとともに、数多くのロールモデルとなる指導医陣が進路の相談や私生活の相談などに応じていくことで、一人一人の研修医が将来の医師としての目標を見つけてそれに向かって歩み始めることが出来るように指導します。
特徴	当院の初期臨床研修プログラムは、総合診療科と救急医療センターを中心としたスーパーローテート方式をとっています。当院の研修プログラムは、質の高い総合診療科研修と救急医療研修が出来ることが最大の特徴です。また充実した専門22診療科を有しており、最先端医療を学ぶことができることも特徴となっています。当院は京都市東南部の中核病院であり、付近には循環器センターや脳卒中専門病院のような施設はなく、プライマリから希少疾患まで数多くの症例を偏りなく経験することが可能です。地域医療研修では、当院グループ病院である宮津武田病院と開業医で約1か月の研修を行います。研修医は指導医とは独立した研修医室にて一人ずつ机やロッカーなど十分なスペースが利用可能であり、寮も無料で提供しています。また指導医と研修医の距離感が非常に近く指導医は常に研修医のサポートを行っており、充実した研修生活を行うことが可能です。

● 初期臨床研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科					救急部	外科系			小児科	産婦人科	
	総合診療科	循環器内科	消化器内科	呼吸器内科	神経内科		外科	麻酔科	整形外科			
2年次	精神科	地域医療	総合診療科	救急部		選択研修						
プログラム責任者		副院長・臨床研修部 神田 益太郎										

● 募集要項 (2019年度採用)

採用予定数	6名	出願期間	令和元年5月1日～各面接試験日の2日前まで
試験日	令和元年8月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)、31日(土)		

● 待遇・処遇

雇用形態	常勤
給与	1年次 300,000円/月 2年次 320,000円/月
手当	当直手当、時間外手当、休日手当 など
勤務時間	9:00～17:30
休暇	有給休暇(1年次/10日、2年次/11日)、夏期休暇、年末年始 など
社会保険	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
当直/副直	当直 副直 5回/月
宿舎	単身用6戸(無償貸与) / 世帯用0戸 / 住宅手当(0円)
その他設備	研修医室、図書室、Medline等の文献データベースあり

● 問い合わせ先

担当部署	臨床研修委員会(総務部)	担当者名	石田 貴志
電話番号	075-572-5466(直通)	Eメール	kensyu-ijinkai@takedahp.or.jp